

特定小電力タイプ
リモコンスイッチ

AN426T/RC-426R

取扱説明書
Ver. 1.2

ヘルツ電子株式会社

〒433-8103 静岡県浜松市豊岡町62-1

TEL. <053>438-3555

FAX. <053>438-3411

ご使用前に

本装置は、AN426T（以下、送信機と略す）とRC-426R（以下、受信機と略す）から構成されております。

本装置の送信機は、「特定小電力無線局テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備」として技術基準適合証明を受けております。

テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備について

テレメータ用無線設備：

電波を利用して遠隔地点における測定器の測定結果を自動的に表示し、又は記録することを目的とする信号の伝送を行う無線設備。

テレコントロール用無線設備：

電波を利用して遠隔地点における装置の機能を始動、変更又は終止させることを目的とする信号の伝送を行う無線設備。

データ伝送用無線設備

主として機械によって処理される情報の伝送又は処理された情報の伝送を行う無線設備

1. 人命や他の機器・装置に被害及び損傷を与える恐れのある用途では使用しないで下さい。
また、送信機からの電波により、誤動作する可能性のある装置の近くでは使用しないで下さい。
2. 技術基準適合証明を受けている装置を分解、改造することは法律で禁止されています。
3. 送信機のケースに貼ってある技術基準適合証明ラベルを剥がさないで下さい。
剥がした状態で使用することは、法律で禁止されています。
4. 本装置は、日本国内専用です。
電波法が異なるため、国外では使用できません。
また、本装置を電気通信回線に接続して使用することは出来ません。
5. 通信性能は周囲の環境によって変化しますので、設置前に通信が可能であることを確認のうえ
ご使用下さい。

安全で快適にお使いいただくために

(必ずお読みください)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を説明しています。

絵表示の意味をよく理解した上でお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定

れる内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体が傷害を負う可能性又は物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。



この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



注意

■ 全てに共通の取り扱いについて

- 湿気・ほこりの多い場所での使用は避けてください。ほこりや水分が入り、故障・火災・感電の原因となることがあります。



■ 本機の取り扱いについて

- 本機は、精密部品で作られた電子機器及び無線通信機器です。分解・改造はしないでください。事故や故障の原因となります。



警告

■ 本機の取り扱いについて

- 本機の故障や誤作動が人命又は財産に危害を及ぼす恐れのある、極めて高い信頼性を要求される用途にはご使用にならないでください。



- 電波が届くか届かない曖昧な範囲ではご使用にならないでください。



■ 電源の取り扱いについて

ACアダプタ・電源コードの発熱、損傷、破損、発火などの防止のため、次のことは必ずお守りください。

● ACアダプタ・電源コードを火に近づけたり、火の中に入れてください。 ACアダプタ・電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	
● ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では 使用しないでください。	
● 濡れやすい場所で、ACアダプタ・本体を使用しないでください。 発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	
● 濡れた手でACアダプタ・本体・電源コード・コンセントに触れないでください。 感電などの事故の原因となります。	
● 電源コードを破損させないでください。 ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	
● 電源プラグにほこりが付着したままで使用しないでください。 ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	
● ACアダプタに強い衝撃を与えないでください。 事故や故障の原因になることがあります。	
● ACアダプタの変形などに気づいたら、使用しないでください。 事故や故障の原因になることがあります。	
● 引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないでください。 発火事故などの原因になります。	
● 絶対にACアダプタを分解しないでください。 事故や故障の原因になることがあります。	

■ 使用中に異常が発生したときは

火災・感電などの原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社宛修理を依頼してください。

● 煙が出たり、変な臭いがするときは使用を中止し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社宛修理を依頼してください。	
● 電源コードが傷んだら使用しないでください。 そのまま使用すると火災や感電の原因になります。	

本機からの電波により、誤動作する可能性のある装置の近くでは使用しないでください。

本機は日本国内専用です。電波法が異なる為、国外では使用できません。

通信性能は周囲の環境によって大きく変化しますので、設置前に通信可能であることを確認のうえ使用してください。

目次

1. 概要.....	1
1-1. はじめに.....	1
1-2. 特徴.....	1
2. 送信機仕様 [AN426T].....	2
2-1. 無線部.....	2
2-2. 一般部.....	3
3. 受信機仕様 [RC-426R].....	4
3-1. 無線部.....	4
3-2. 一般部.....	4
4. 各部の名称と働き [AN426T].....	5
4-1. 外観.....	5
4-2. 入力端子台.....	7
5. 各部の名称と働き [RC-426R].....	8
5-1. 外観.....	8
5-2. 端子台.....	9
5-3. スイッチパネル（通信チャンネル、識別番号、動作タイプ設定用スイッチ）.....	10
6. 動作タイミグ [AN426T].....	11
7. 送信機の設定 [AN426T].....	12
7-1. 通信チャンネルの設定.....	12
7-2. 識別番号の設定.....	13
7-2-1. ユニット番号の設定（CALL）.....	13
7-2-2. 機器番号の設定（STOP）.....	13
8. 受信機の設定 [RC-426R].....	14
8-1. 通信チャンネルの設定.....	14
8-2. 識別番号の設定.....	15
8-3. 動作タイプの設定.....	16
8-3-1. 2スイッチ信号受信タイプ.....	16
8-3-2. 3スイッチ信号受信タイプ.....	17
9. 設置方法.....	18
9-1. 送信機 [AN426T].....	18
9-2. 受信機 [RC-426R].....	18
10. 使用上の注意事項.....	19
10-1. 本機の使用に際して.....	19
10-2. 乾電池の交換.....	19
10-3. 乾電池使用上の注意.....	19
10-4. 受信機との動作確認.....	19
11. 故障と思う前に.....	20
12. 寸法図.....	21
12-1. 送信機 [AN426T].....	21
12-2. 受信機 [RC-426R].....	22

1. 概要

1-1. はじめに

本書は、特定小電力タイプ送信機（AN426T）及び受信機（RC-426R）について説明しております。

この説明書をよくお読みいただき正しくお使い下さい。

送信機は、「特定小電力無線局テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備」として技術基準適合証明を受けているため免許不要です。

本装置は、スイッチ信号を送信する送信機と受信したスイッチ信号に応じて端子台へ出力する受信機から構成されています。

送信機の入力操作により、離れた場所にある受信機のリレー出力端子を動作（ON/OFF）させ、接続されている機器を制御できます。

1-2. 特徴

- ① 通信チャンネルを1ch～10chまで設定できます。（ロータリースイッチにて設定）
- ② 送信機の電源として付属のACアダプタの他に、単3型乾電池（2本）での使用も可能なため、携帯して使用できます。また、送信機には電圧検出機能（BAランプ）があり、乾電池での消耗も確認でき安心してご使用できます。
- ③ 機器識別用のIDはセットNo、ユニットNo、機器No合わせて各8種類ずつある為、複数の機器を同一エリアで使用しても混信の心配がありません。（注1）
- ④ 送信機はSTOP、CALL、CLRの3点の押しボタンスイッチとSTOP、CALL、CLRの3点の無電圧接点入力を持ちどちらからでも同様な操作が出来ます。
- ⑤ 端子入力時の場合のみ送信方法として2種類の方法を選択できます。（注2）
通常送信：キー入力または端子入力がある間、コードの送信（約1秒）と送信休止（2秒）を繰り返します。
特殊送信：キー入力時の送信は、上記の通常送信で行われます。
端子入力時の送信は、端子入力された時にコードを送信（約1秒）します。その後は、端子入力が無くなった時にCLRコードを送信（約1秒）し、送信休止となります。
STOP、CALL入力共に別々に動作します。
- ⑥ 1mWタイプの特定小電力無線を利用している為、通信距離が確保できます。
（見通し100m～300m）
- ⑥ 誤動作の少ない信頼性の高い通信方式を採用しています。
- ⑦ 受信機は3点のリレー出力端子（OUT1～OUT3）があります。
受信した信号により各出力端子をONまたはOFFします。
動作タイプの設定スイッチにより出力の仕方を変更できます。
注1）セットNo、ユニットNo、機器Noは出荷時設定です。ご購入時に指定してください。
（ただし、ユニットNoと機器Noはユーザー様にて変更可能です。）
注2）送信方法は、出荷時設定となっております。ご購入時に、送信方法をご指定下さい。
ご指定の無い場合には、「通常送信」とさせていただきます。

2. 送信機仕様 [AN426T]

2-1. 無線部

項目	仕様
装置種別	ARIB STD-T67 (1.0版) に準拠する特定小電力無線局 (特定小電力無線局テレメータ用、テレコントロール用及びデータ 伝送用無線設備)
使用周波数	426.0250MHz ~ 426.1375MHz (12.5kHzステップ 10波 ロータリースイッチで切替)
電波形式	F1D
空中線電力	1mW +20% -50%
アンテナ	$\lambda/4$ ホイップアンテナ (取り外し不可)
変調方式	直接2値FSK
変調速度	977bps
通信方式	単向通信方式による間欠通信 (注1)
その他	送信時間制限: 送信時間3秒以内、送信休止時間2秒以上 (注2)

注1) 「単向通信方式」とは、単一の通信の相手方に対し、送信のみを行う通信方式です。

注2) 本機は、電波を発射してから送信時間内にその電波の発射を停止し、かつ、送信休止時間を経過した後でなければその後の送信を行いません。(連続送信をする事はできません)

[この機能は、本機が「特定小電力無線局テレメータ用、テレコントロール用及びデータ伝送用無線設備」として技術基準適合証明を受けるために必要なものです。]

2-2. 一般部

項目	仕様
入力キー	CALLキー (△) × 1 STOPキー (□) × 1 CLRキー (○) × 1
入力端子	CALL端子 (△) × 1 STOP端子 (□) × 1 CLR端子 (○) × 1
表示素子	赤色LED (BA) × 1 (電源警告用) 緑色LED (TX) × 1 (送信時点灯)
電源	付属ACアダプタ (AC100V入力、DC5V出力) または、 単三型乾電池 × 2
消費電力	送信時： 200mW以下 送信2秒休止時： 50mW以下
外形寸法	約 108W × 65H × 35.5Dmm (突起物を除く)
重量	約 250g (乾電池を除く)
使用環境	温度： 0～+50℃ 湿度： 25%～85% (但し、結露なきこと)
付属品	ACアダプタ × 1

3. 受信機仕様 [RC-426R]

3-1. 無線部

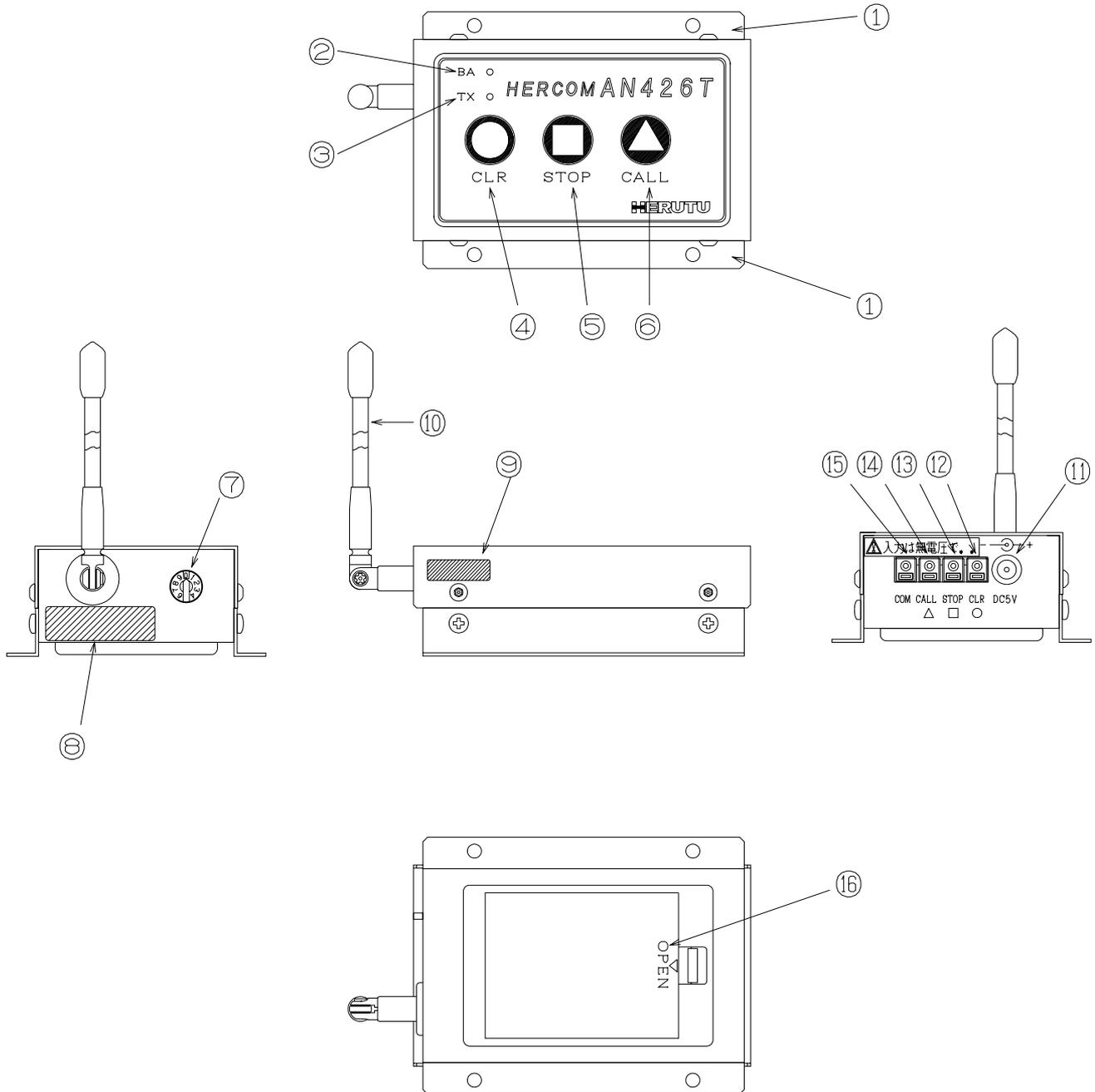
項目	仕様
通信周波数	426.0250MHz～426.1375MHz (12.5kHzステップ 10波)
電波形式	F1D
アンテナ	$\lambda/4$ ホイップアンテナ
変調方式	直接2値FSK
変調速度	977bps
通信	受信専用

3-2. 一般部

項目	内容	備考
表示素子	赤色LED ×4	リレー出力時点灯(3) 電源投入時点灯(1)
出力端子	OUT1 ×1 OUT2 ×1 OUT3 ×1	リレー出力 定格負荷： AC125V 0.5A DC24V 1A
電源	DC6～12V	端子台から入力
消費電流	最大 約160mA (DC9V) 待機時 約62mA (DC9V)	
外形	約161W×86H×29Dmm	突起物は除く
重量	約500g	アンテナは除く
使用環境	温度：0～50℃ 湿度：25%～85%	結露無き事
付属品	$\lambda/4$ ホイップアンテナ ×1	
オプション	ACアダプタ HRF-232AC-PS (別売となります)	

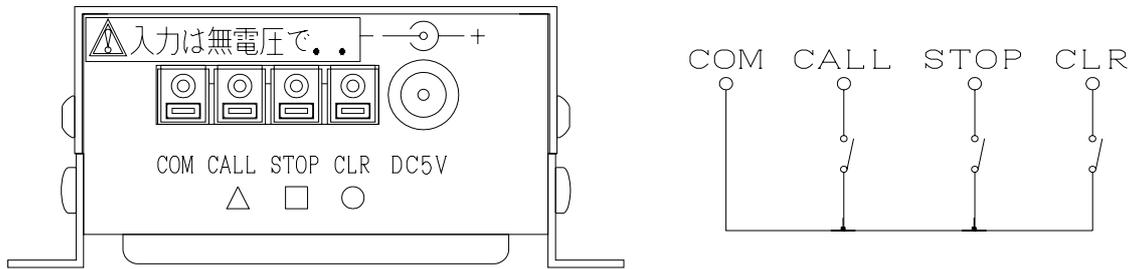
4. 各部の名称と働き [AN426T]

4-1. 外観



番号	名 称	機 能
①	取り付け金具	本機をパネル等に固定する場合にご利用ください。
②	BAランプ	赤色の電源警告用ランプです。 キー入力あるいは端子台からの入力がある間点灯し続ける場合には、電源電圧が低下しています。 乾電池でご使用の場合は、早めに新しい乾電池に交換してください。
③	TXランプ	緑色の送信ランプです。 送信しているときに点灯します。
④	CLRキー	キー入力でCLRコードを送信します。
⑤	STOPキー	キー入力でSTOPコードを送信します。
⑥	CALLキー	キー入力でCALLコードを送信します。
⑦	ロータリースイッチ	通信チャンネルを設定します。(計10波から1波設定)
⑧	認証ラベル	型式、製造番号、認証番号が記載されている認証ラベルです。
⑨	機器識別ラベル	本機のユニット番号及び機器番号を示すラベルです。 (セット番号、ユニット番号、機器番号の順で記載しています。)
⑩	アンテナ	図のように垂直に立ててご使用ください。
⑪	DCジャック	付属のACアダプタを接続します。
⑫	CLR端子	端子入力でCLRコードを送信します。
⑬	STOP端子	端子入力でSTOPコードを送信します。
⑭	CALL端子	端子入力でCALLコードを送信します。
⑮	COM端子	CLR、STOP、CALLの各端子の接地端子です。
⑯	乾電池ケース蓋	単三型乾電池にて使用する場合この蓋を開けます。

4-2. 入力端子台



本機の外部入力端子（CLR端子、STOP端子、CALL端子）へは、リレー、マイクロスイッチ、リミットスイッチなどの無電圧接点を接続します。

それぞれの入力端子への入力により、キー入力と同様にCLRコード、STOPコード、CALLコードを送信します。

- 本端子に接続する無電圧接点について
 - 無電圧接点にはチャタリングが少ないもの
 - 付属ACアダプタ使用時： 5V / 3mAの電圧、電流を安定してON/OFF可能なもの
 - 乾電池使用時： 3V / 2.5mAの電圧、電流を安定してON/OFF可能なものをご使用ください。
- 入力検出について

キー入力及び端子入力の全ての入力状態が、チャタリングチェック時間（約50msec）の間、変化がない時の入力状態を入力値とします。

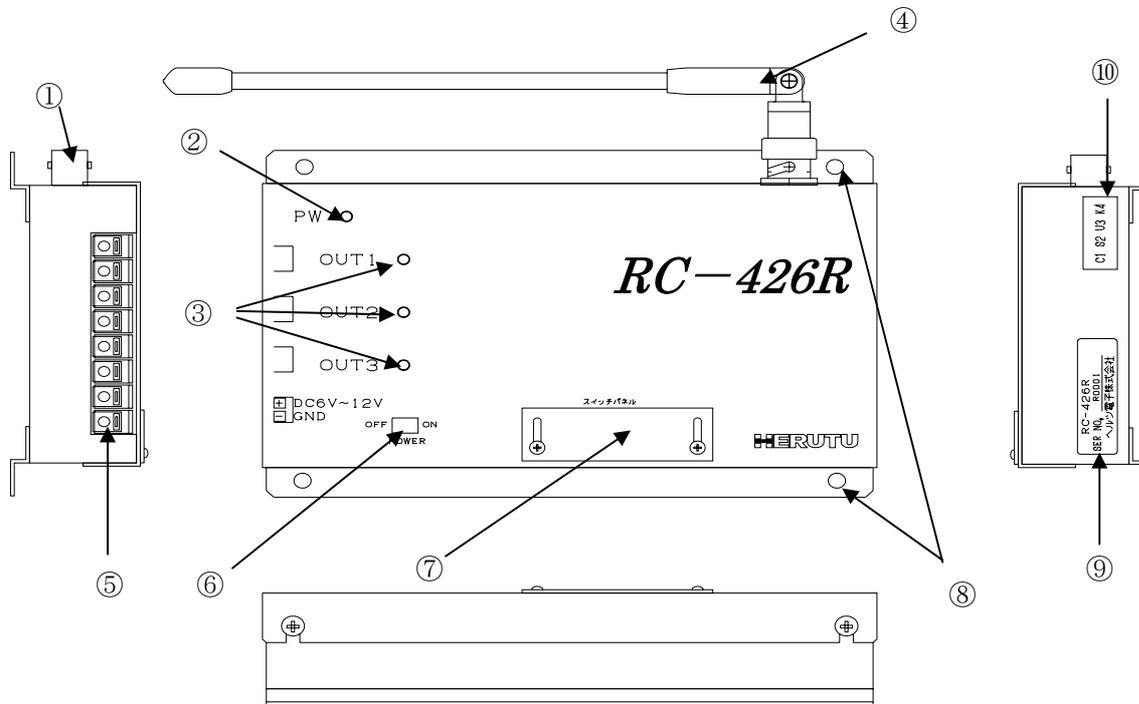
電源入力部

ACアダプタ接続用のDC INジャックの極性は、センターマイナスとなっています。付属のACアダプタ以外のアダプタをご使用になる場合は、極性にご注意ください。

また、出力電圧がDC 5V（±5%以内）で、出力電流が400mA以上取れるものをご使用ください。

5. 各部の名称と働き [RC-426R]

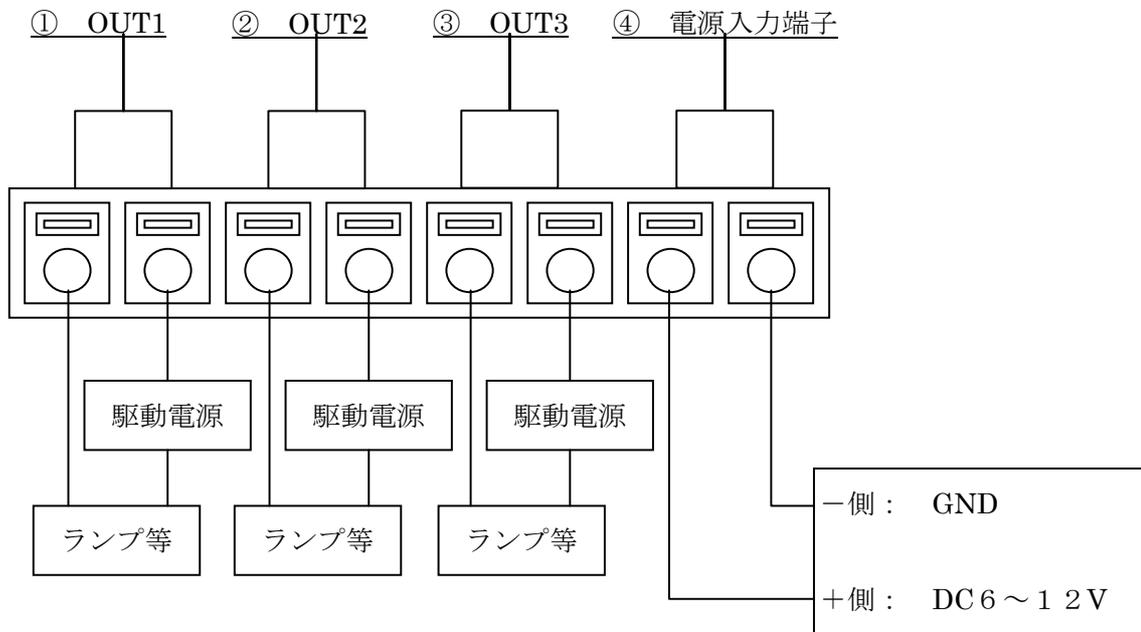
5-1. 外観



項番	名称	機能/内容
①	BNCコネクタ	付属のホイップアンテナを接続します。
②	PWランプ	電源投入時に点灯する赤色のパイロットランプです。
③	OUT 1 ランプ OUT 2 ランプ OUT 3 ランプ	各リレー出力に対応して点灯する赤色のランプです。
④	アンテナ	付属のホイップアンテナです。BNCコネクタにしっかり止めてください。
⑤	端子台	次項を参照ください。(5-2. 端子台)
⑥	POWERスイッチ	電源投入用のスライドスイッチです。
⑦	スイッチパネルカバー	ロータリースイッチ(通信チャンネル設定用)及び8連ディップスイッチ(識別番号、動作タイプ設定用)を保護する為のカバーです。カバーを止めているビスを緩めてカバーをずらしてください。
⑧	取り付け金具	受信機本体を固定する場合にご使用下さい。
⑨	製番ラベル	製品名と製造番号を記載してあります
⑩	機器識別ラベル	出荷時のチャンネル番号、セット番号、ユニット番号、機器番号の順に記載しています。(セット番号が付かない時、セット番号は“0”となります)

5-2. 端子台

端子台の機能と名称及び接続例を示します。



項番	名称	機能／内容
①	OUT 1	リレー出力端子です。 ランプ等の負荷を接続します。最大定格負荷は、AC 125V 0.5A、DC 24V 1Aです。
②	OUT 2	送信機から送られてくるスイッチ信号に応じてリレー出力します。
③	OUT 3	
④	電源入力端子	DC 6 ~ 12V : (+側) 電源入力端子です。 GND : (-側) 電源のグランドです。 電源電圧は、DC 6 ~ 12Vの範囲内で入力して下さい。出力電流が400mA以上取れるものをご使用ください

注意) 各端子への接続は、安全の為に電源を切ってから実施して下さい。

5-3. スイッチパネル (通信チャンネル、識別番号、動作タイプ設定用スイッチ)

本体のスイッチパネルカバーのビスを緩めて下にずらすとロータリースイッチと8連ディップスイッチがあります。

これらのスイッチには次の機能があります。

① ロータリースイッチ

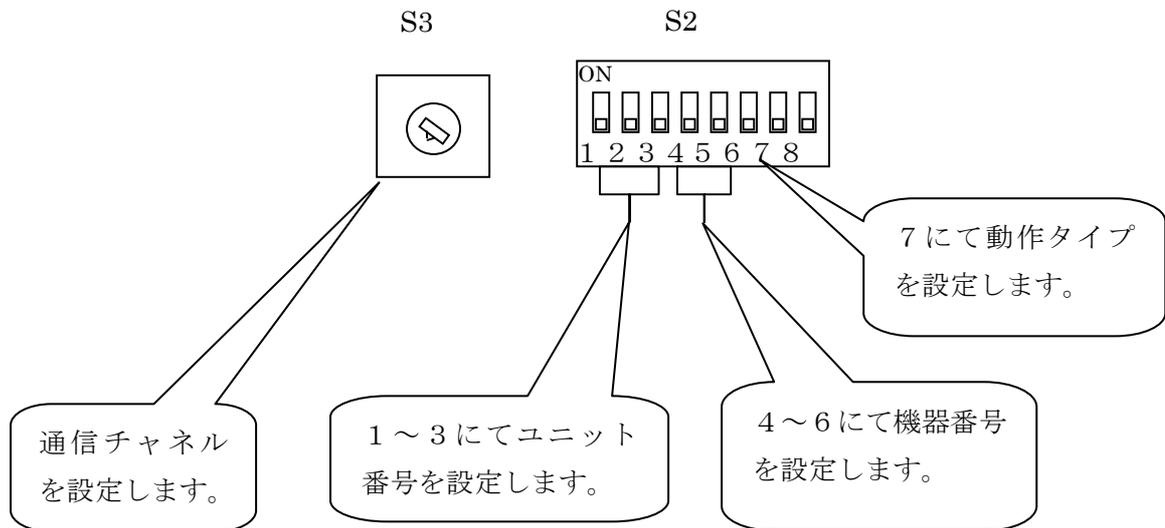
通信チャンネル (1~10ch) を設定します。

② 8連ディップスイッチ

1~6番で識別番号 (ユニット番号、機器番号) を設定します。

7番で動作タイプを設定します。

8番は常にOFFでご使用下さい。

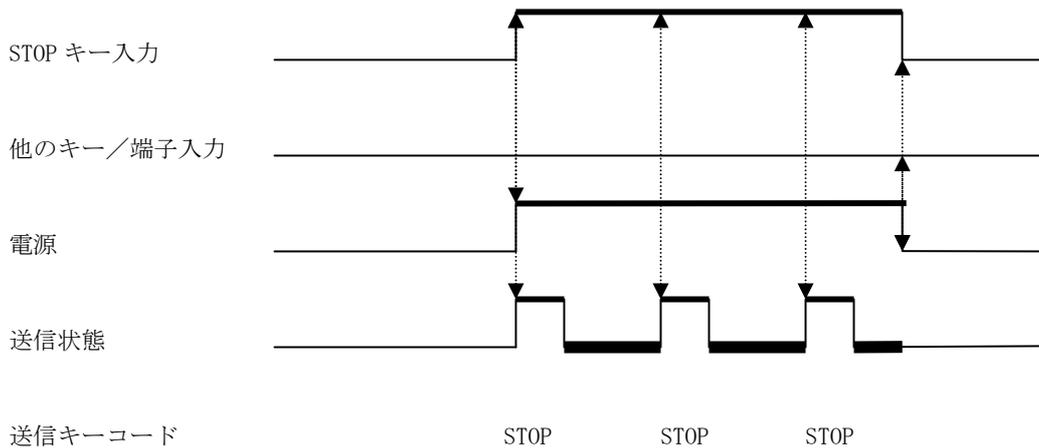


6. 動作タイミング [AN426T]

タイミングチャート

入力、電源、送信状態、及びコード送信のタイミングチャート例を示します。

例1) 単一キー入力の場合



キー及び端子入力の検出

チャタリングチェック時間（50 msec）の間全ての入力状態に変化が無ければこの時の入力状態を入力値とします。

通常送信と特殊送信での違いについて

通常送信：キー入力または端子入力がある間、コードの送信（約1秒）と送信休止（2秒）を繰り返します。

特殊送信：キー入力時の送信は、上記の通常送信で行われます。

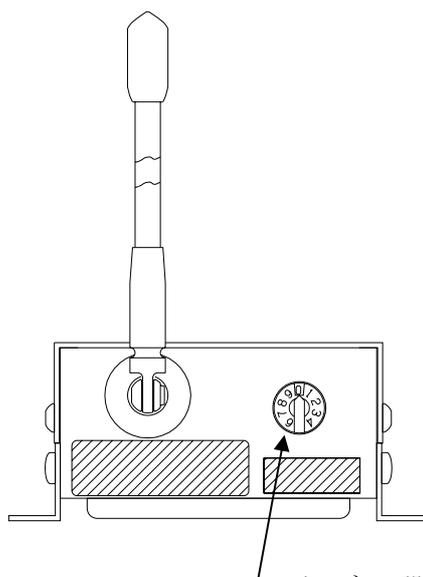
端子入力があった場合は、端子コードを送信（約1秒）し、送信休止（2秒）をします。その後の端子コードの送信（約1秒）と送信休止（2秒）の動作は、端子入力に変化があった場合にだけ行われます。

端子入力が無くなった時には、CLRコードを送信（約1秒）し、電源をOFFします。

7. 送信機の設定 [AN426T]

7-1. 通信チャンネルの設定

設定したいチャンネル番号をロータリースイッチによりセットして電源を入れると、そのスイッチが示す数値のチャンネルに設定されます。



チャンネル設定用ロータリースイッチ

通信チャンネル

通信チャンネルは、1ch～10chまであり、ロータリースイッチで設定します。

(10chを設定するには、ロータリースイッチを‘0’にします。)

チャンネル番号と通信周波数の関係は、次表の通りです。

チャンネル番号	周波数 (MHz)
1	426.0250
2	426.0375
3	426.0500
4	426.0625
5	426.0750
6	426.0875
7	426.1000
8	426.1125
9	426.1250
10	426.1375

7-2. 識別番号の設定

ロータリースイッチにて設定します。設定内容を次に示します。

設定項目	対応キー	設定範囲
ユニット番号	CALL	‘1’～‘8’
機器番号	STOP	‘1’～‘8’

セット番号は出荷時固定です。

7-2-1. ユニット番号の設定 (CALL)

CALLキーにてユニット番号‘1’～‘8’を設定します。

- ① CLR+STOP+CALLキーを押します。そのまま2秒以上押し続けます。
TXランプが約0.3秒間隔で点滅し設定モードに入ったことを知らせます。
- ② ロータリースイッチで希望のユニット番号を設定します。
- ③ CALLキーを押します。(TXランプ点灯)
- ④ しばらくするとTXランプが点滅し、設定が終了したことを知らせます。
TXランプの点滅を確認した後、キーボタンを離して下さい。(注2)
- 5 CLRキーを押します。TXランプが点灯します。CLRキーを離します。
電源が切れ設定モードから抜けます。

7-2-2. 機器番号の設定 (STOP)

STOPキーでユニット番号‘1’～‘8’を設定します。

- ① CLR+STOP+CALLキーを押します。そのまま2秒以上押し続けます。
TXランプが約0.3秒間隔で点滅し設定モードに入ったことを知らせます。
- ② ロータリースイッチで希望の機器番号を設定します。
- ③ CALLキーを押します。(TXランプ点灯)
- ④ しばらくするとTXランプが点滅し、設定が終了したことを知らせます。
TXランプの点滅を確認した後、キーボタンを離して下さい。
- 6 CLRキーを押します。TXランプが点灯します。CLRキーを離します。
電源が切れ設定モードから抜けます。

ユニット番号・機器番号・セット番号の設定は出荷時に設定されており、通常は変更の必要がありません。

8. 受信機の設定 [RC-426R]

8 ページのスイッチパネル（通信チャンネル、識別番号、動作タイプ設定用スイッチ）をご覧ください

8-1. 通信チャンネルの設定

ロータリースwitchで通信チャンネルを1 ch～10 chまで設定できます。

チャンネル番号とロータリースwitch設定値との関係を次表に示します。

チャンネル番号	通信周波数 (MHz)	ロータリースwitch 設定値
1	426.0250	1
2	426.0375	2
3	426.0500	3
4	426.0625	4
5	426.0750	5
6	426.0875	6
7	426.1000	7
8	426.1125	8
9	426.1250	9
10	426.1375	0

注1) 送信機と受信機の通信チャンネルは、出荷時に設定されています。
通常は、変更の必要はありません。

変更する場合は、送信機と受信機の通信チャンネルを同一にして
下さい。
送信機と受信機の通信チャンネルが異なると通信できません。

注2) 変更時は、安全の為に電源を切ってから実施して下さい。
(変更を有効にするには、電源を再投入する必要があります。)

8-2. 識別番号の設定

識別番号はセット番号（‘1’～‘8’）、ユニット番号（‘1’～‘8’）と機器番号（‘1’～‘8’）から構成されています。セット番号は出荷時固定です。

ユニット番号の設定は、8連ディップスイッチの1番～3番で行います。

機器番号の設定は、8連ディップスイッチの4番～6番で行います。

識別番号と8連ディップスイッチ（1番～6番）設定値との関係を次表に示します。

ユニット番号の設定			機器番号の設定				
ユニット 番号	ディップスイッチ			機器番号	ディップスイッチ		
	1	2	3		4	5	6
1	○	○	○	1	○	○	○
2	●	○	○	2	●	○	○
3	○	●	○	3	○	●	○
4	●	●	○	4	●	●	○
5	○	○	●	5	○	○	●
6	●	○	●	6	●	○	●
7	○	●	●	7	○	●	●
8	●	●	●	8	●	●	●

注意) ディップスイッチの欄は、

ユニット番号設定では、左から1番、2番、3番スイッチに、
機器番号設定では、左から4番、5番、6番スイッチに
対応しています。

‘●’がON、‘○’がOFFを表します。

注1) 送信機と表示機の識別番号（ユニット番号、機器番号）は、出荷時に設定されています。

通常は、変更の必要はありません。

変更する場合は、送信機と受信機側で同じ識別番号にして下さい。

識別番号が異なると通信できません。

注2) 変更時は、安全の為に電源を切ってから実施して下さい。

(変更を有効にするには、電源を再投入する必要があります。)

8-3. 動作タイプの設定

動作の切り替えは、8連ディップスイッチの7番で行います。

7番をOFFで「2スイッチ信号受信タイプ」、ONで「3スイッチ信号受信タイプ」に設定されます。

8-3-1. 2スイッチ信号受信タイプ

送信機からのSTOP、CLRの2点のスイッチ信号を受信し対応するリレー出力OUT1～3を制御します。CALL信号は使用できません。

下記に送信機のキー操作と受信機のリレー出力の関係を示します。

キー操作		リレー出力内容		
		OUT 1	OUT 2	OUT 3
STOP	押す	ON	OFF	ON
	離す	OFF	OFF	ON
CLR	押す	OFF	ON	OFF
	離す	OFF	OFF	OFF

- ① 受信機は、STOPまたはCLRの2点のスイッチ信号を受信すると、上表の「押す」欄に基づきリレー出力をします。
- ② 受信機は、約2.5秒（ラッチ時間）以上受信できなかった場合、上表の「離す」欄に基づきリレー出力をします。
但し、例えばSTOPキーが離されてからラッチ時間経過前にCLRキーが押されれば、STOPキーが離された時の出力はせずに直ちにCLR受信時の出力（OUT1、2をOFFし、OUT2のみをON）します。

注意) 2キー又は、3キー同時押下の信号及びCALLキーの信号は、受信しません。

8-3-2. 3スイッチ信号受信タイプ

送信機からのSTOP、CLR、CALLの3点のスイッチ信号を受信し対応するリレー出力OUT1～3を制御します。

送信機のキー押下と受信機のリレー出力の関係を示します。

キー押下	リレー出力内容		
	OUT 1	OUT 2	OUT 3
STOP	ON	OFF	OFF
CLR	OFF	ON	OFF
CALL	OFF	OFF	ON
CLR+STOP	ON	ON	OFF
STOP+CALL	ON	OFF	ON
CLR+CALL	OFF	ON	ON
CLR+STOP+CALL * 1	ON	ON	ON

- ① 受信機は、スイッチ信号を受信すると上表に基づきリレー出力をします。
- ② 受信機は、約2.5秒（ラッチ時間）以上受信できなかった場合、全リレー出力をOFFします。

* 1 CLR、STOP、CALLキーの同時押しは出来ません。（送信機側にて送信機設定モードに入るからです。）ひとつずつキーを順番に押していけば上記のようになります。

9. 設置方法

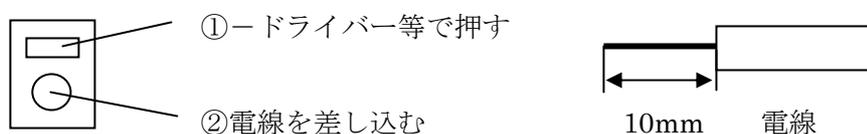
9-1. 送信機 [AN426T]

- ① 各入力端子（CLR、STOP、CALL）にリレーやマイクロスイッチ等の無電圧接点を接続します。（キーボタンだけを使用する場合には必要ありません。）
- ② 付属のACアダプタを接続します。（電池でご使用の場合には接続しないで下さい。）
- ③ キーボタンを押すか無電圧接点をONするとTXランプが点灯し送信を開始します。

9-2. 受信機 [RC-426R]

- ① 付属のホイップアンテナをBNCコネクタに取り付けます。
- ② 各リレー出力端子OUT 1～3に被制御装置を接続します。
各出力の定格負荷は、AC 125V 0.5A、DC 24V 1Aです。
- ③ 電源入力端子に電源ラインを接続します。
電源電圧は、DC 6V～12Vです。
- ④ POWERスイッチをONするとPWランプが点灯し動作を開始します。

端子への接続方法は下記の手順にて行ってください。



①の部分をつドライバー等で押したまま②の部分に装置の電線を10mm程度差し込んで下さい。

差し込みが終わったら①の部分からドライバーを離してください。

使用可能電線

単線：φ0.4～φ1.0（AWG26～18）

燃線：0.3mm～0.75mm（AWG22～20）

素線径 φ0.18以上

参考) お取り付けの際には、「12. 寸法図」もご覧下さい。

10. 使用上の注意事項

10-1. 本機の使用に際して

<以下の事に注意して使用してください>

- ① 本機は、できるだけ金属板や電線から遠ざけてください。
- ② ノイズ発生源からできるだけ離してください。
- ③ 本機と受信装置側のアンテナ間に、なるべく遮蔽物がない場所を選んで使用してください。
- ④ 通信性能は、使用環境に大きく依存します。

通信が可能であるかを確認の上、使用してください。

通信限界付近では少しの位置や状況の変化でも動作したりしなかったりします。余裕を持ってご使用下さい。

- ⑤ 本機は、防塵／防滴構造ではありません。

<以下のような場所での使用はお控え下さい。>

- ① 本機からの電波により、誤動作をする可能性のある装置の近く
- ② 温度・湿度が非常に高い所、または温度が非常に低い所
- ③ テレビやラジオの近く
- ④ モーターなど火花を飛ばすものの近く
- ⑤ 強い磁界を発生している所
- ⑥ 鉄骨や金属壁で囲まれた狭い所

10-2. 乾電池の交換

次の手順で交換してください。

- ① 本体下面にあるプラスチック製の乾電池ケースの蓋を外します
- ② 内部の電池ケースに単3型乾電池を取り付けます。

この時、電池は極性を間違えないように、ずれないように装填してください。

10-3. 乾電池使用上の注意

- ① 長時間使用されない場合や、保管する場合は乾電池を取り外しておいてください。
- ② 交換する乾電池は、必ず2本とも新しい同じ種類の電池にしてください。

古い乾電池や、種類の違う乾電池を混用すると乾電池の寿命が短くなるばかりでなく、故障の原因になる恐れがあります。

10-4. 受信機との動作確認

- ① 受信機の押しボタンを押したとき受信機側にて正常な動作を行うか確認してください。
- ② 受信機を正規の位置に設置したときの送信機の動作範囲を確認し、余裕を持った範囲内でご使用になることをお勧めします。送信可能な範囲はノイズ状態や、電波の反射や遮蔽の状況で変化しますのでご注意下さい。

1 1. 故障と思う前に

< 1 > キーを押したとき B A ランプが点灯している。

原因と対策：

- ① 乾電池が消耗しています。
早めに新しい乾電池に交換してください。

< 2 > キーを押しても T X ランプが点灯しないし、近距離でも受信もしない。

原因と対策：

- ① 乾電池が正しく取り付けられているか確認してください。
乾電池が消耗していないか確認してください。
- ② 送信機のロータリースイッチが受信機のチャンネルと合っているか確認下さい。

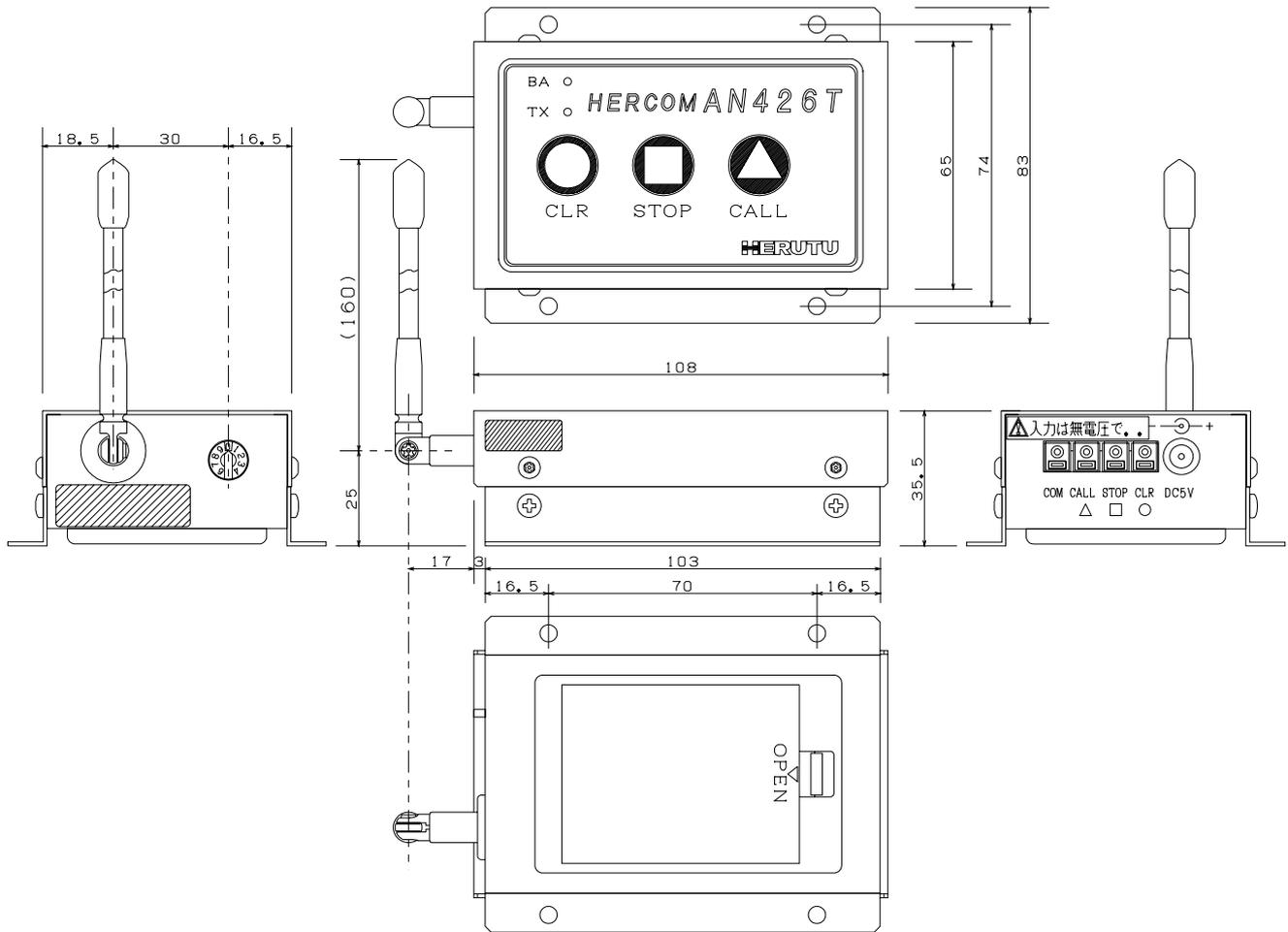
< 3 > 受信装置側で受信できない

原因と対策：

- ① 正しい使用方法を守っていますか？
送信機を受信機の近くで操作して動作を確認してください。
- ② 本機と受信装置側の通信周波数が異なっていませんか？
本機（ディップスイッチで変更可能）または、受信装置側で通信周波数を合わせてください。
- ③ 機器番号、ユニット番号を変更していませんか。
本機（設定スイッチとディップスイッチで変更可能）または、受信装置側で番号を合わせてください。
- ④ 電波の到達範囲外で使用していませんか？
使用される環境により通信性能は変化します。
使用される環境で電波の到達範囲を確認の上、本装置を設置して下さい。

1 2 . 寸法図

1 2 - 1 . 送信機 [AN426T]



1 2 - 2 . 受信機 [RC-426R]

